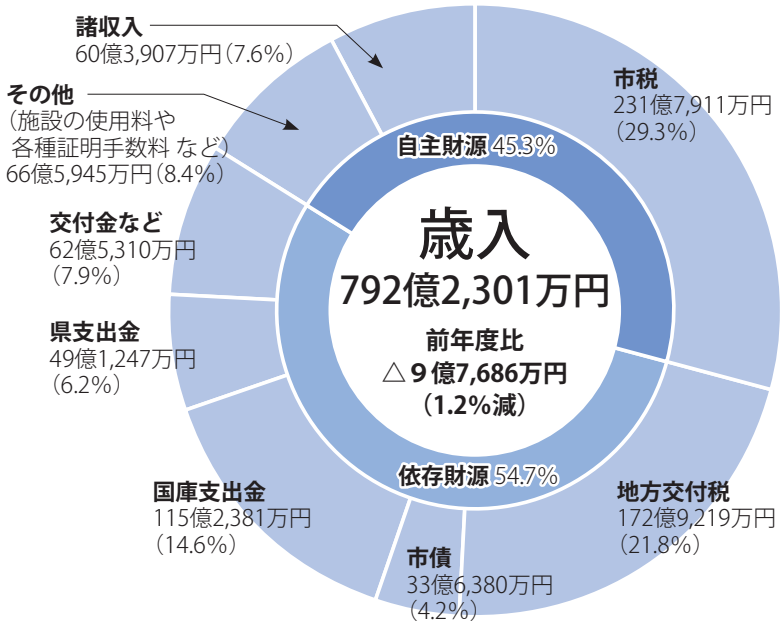
令和7年度の決算状況をお知らせします

令和7年度の市の決算がまとまりました。皆さんから納めていただいた税金や、国・県の補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。

◎表示単位未満を四捨五入しています。端数処理のため合計額は一致しないことがあります。

一般会計

歳入（１年間に市に入ったお金）は792億２千万円余、歳出（１年間に市が使ったお金）は765億２千万円余となり、令和８年度へ繰り越す財源を除いた実質収支は22億円余の黒字となりました。また、この実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、４億２千万円余の黒字となりました。前年度と比べて財政収支に一定の改善が見られるものの、市の貯金に当たる財政調整基金の取り崩しが続くなど、依然として厳しい財政状況にあります。今後も歳入の確保と歳出の見直しを進め、持続可能な行財政運営に努めてまいります。



◆実質収支

歳入（A）	792億2,301万円
歳出（B）	765億2,676万円
翌年度繰越財源（C）	4億9,246万円
実質収支（D）（A-B-C）	22億　379万円
前年度実質収支（E）	17億7,572万円
単年度収支（F）（D-E）	4億2,806万円

自主財源

市税、使用料など市が自主的に得られる財源

依存財源

地方交付税、国・県支出金、市債など国や県の基準によって定められた額が交付される財源

市の予算は、使う目的別に区分しています。各区分に掲載している事項は、令和７年度に実施した主な事業です。それぞれの区分に含まれる人件費は総額で135億円（歳出総額の17.7%）、道路や公共施設整備などの普通建設事業費は総額で58億円（歳出総額の7.6%）です。

令和６年度決算との比較（主なもの）

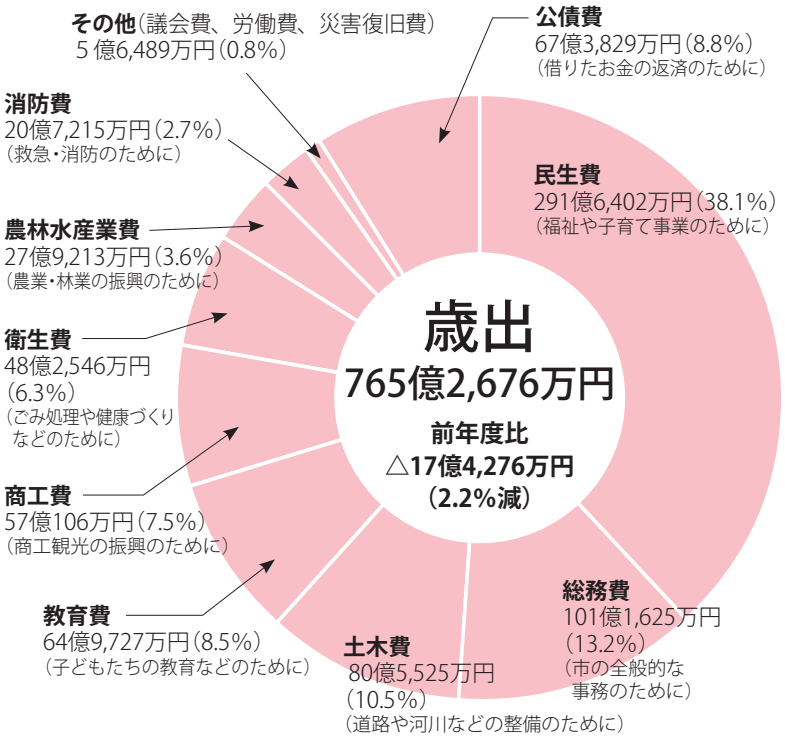
●総務費　丸子地域自治センター整備事業費や電算業務管理運営事業費の増などにより前年度と比較し5億7,320万円、6.0%の増

●民生費　児童手当支給事業費や自立支援給付事業費の増などにより前年度と比較し13億5,338万円、4.9%の増

●災害復旧費　公共土木施設災害復旧費や農林水産業施設災害復旧費の減などにより前年度と比較し2億6,607万円、97.5%の減

●教育費　第五中学校改築事業費や上田古戦場公園テニスコート整備事業費の減などにより前年度と比較し16億8,370万円、20.6%の減

●土木費　土木管理事業費や市道新設改良事業費の減などにより前年度と比較し13億54万円、13.9%の減



市民一人当たりに換算すると

歳入52万5,955円（前年度比0.6%減）　**歳出50万8,055円**（前年度比1.6%減）

歳出内訳

民生費 19万3,617円	総務費 6万7,161円	土木費 5万3,478円	教育費 4万3,135円	商工費 3万7,849円	衛生費 3万2,036円
農林水産業費 1万8,537円	消防費 1万3,757円	議会費 2,290円	災害復旧費 45円	労働費 1,416円	公債費 4万4,735円

※市民一人当たりの金額は、令和８年１月１日現在の住民基本台帳人口（150,627人）で割ったものです。

決算概要の詳細は市ホームページで公表しています

問　財政課
☎ 23・5113

財政状況

財政の健全性を示す財政指標はいずれも、早期健全化基準を下回っており健全であることを示す数値となっています。実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字決算のため、該当がありませんでした。

指　標	内　容	結　果	早期健全化基準※
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	—（ 5.13%黒字）	11.38%
連結実質赤字比率	全会計（一般、特別、企業）の赤字の割合	—（25.30%黒字）	16.38%
実質公債費比率	年間の借金返済額などの割合	5.6%	25.0%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債（借金）などの割合	24.2%	350.0%

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要になります。

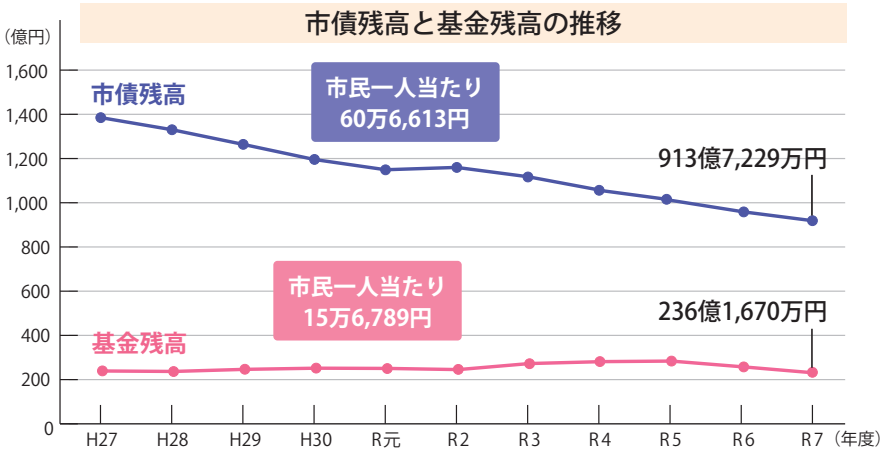
上田市の財産

●基金残高　236億円

市の貯金ともいえる基金を、令和７年度は合計で12.4億円を積み立てる一方、27.1億円を取り崩して、事業実施のために活用しました。

【基金の年度末現在高】（一般会計＋特別会計）

○財政調整基金　34億2,381万円　　○その他特定目的基金　154億　526万円
○減債基金　44億　182万円　　○定額運用基金　3億8,581万円



●市債残高　914億円

道路、学校、病院や下水道など社会資本整備のために市債（借入金）を活用しています。長期の借入を行うことで、財政負担を複数年に分け、計画的な財政運営を行っています。

区　分	令和７年度末
一般会計	575億2,207万円
特別会計	4,659万円
企業会計	338億　362万円
合　計	913億7,229万円

●有価証券　1,522万円
●出資による権利　26億5,322万円
●土地　51,604,878㎡
内訳　宅地　2,341,552㎡
内訳　山林　41,435,526㎡
内訳　その他　7,827,800㎡
●建物（延床面積）　664,805㎡

特別会計

【歳入】343億円
【歳出】337億円

特別会計とは、特定の事業や資金などについて、その収支を明確にするための会計です。
特別会計全体の決算額（歳出）は、前年度と比べると１億8,682万円、0.6%の増となりました。

会　計　名	決　算　額	
	歳　入	歳　出
土地取得事業	0円	0円
国民健康保険事業	146億9,698万円	146億1,580万円
後期高齢者医療事業	28億1,514万円	27億1,489万円
介護保険事業	165億5,398万円	160億8,748万円
駐車場事業	1億5,659万円	1億5,629万円
武石診療所事業	8,845万円	8,217万円
合　計	343億1,113万円	336億5,664万円

※土地取得事業特別会計は令和７年度末をもって廃止されました。

公営企業会計

【収入】146億円　【支出】170億円

公営企業会計とは、水道料金などの収益によって運営される会計です。
企業会計全体の決算額（支出）は前年度と比べると５億7,530万円、3.3%の減となりました。

会　計　名	収益的収支※1		資本的収支※2	
	収　入	支　出	収　入	支　出
水道事業	33億8,801万円	28億8,272万円	5億8,858万円	16億4,567万円
公共下水道事業	60億8,660万円	47億3,946万円	26億　444万円	55億6,497万円
農業集落排水事業	13億　668万円	11億8,658万円	5億8,677万円	9億6,757万円
合　計	107億8,129万円	88億　876万円	37億7,979万円	81億7,822万円

※1　収益的収支：人件費、施設の維持管理費、減価償却費など経営活動に必要な経費
※2　資本的収支：施設の整備・投資、借入金の償還金などの費用